



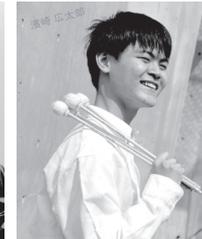
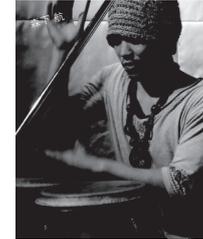
PROFILE

1959年秋田県生まれ。秋田県立秋田高校卒業後、武蔵野音楽大学でクラリネットを専攻し、故松代晃明、千葉国男両氏に師事。在学中は同校ウインドアンサンブルのコンサートマスターを務める傍ら、スクールバンドの指導者としてもその頭角を現す。バンド指導に並行し、オーケストラ作品の編曲も精力的にこなし、出版作品を多数持つ。1983年埼玉県川越市立野田中学校に着任し、95年まで同校吹奏楽部を指導。同校を日本有数のスクールバンドに育て上げた。音楽教育でも平成3年度埼玉県長期派遣研修教員として東京藝術大学大学院音楽教育研究室で山本文茂氏のもとで研鑽を積む。97年以降、川越奏和奏友会吹奏楽団、秋田吹奏楽団、ソーレウインドアンサンブル、立正大学吹奏楽部を率いて全日本吹奏楽コンクール出場。現在、全国の中学校、高等学校、一般吹奏楽団の指導の他、クリニック 審査員、執筆など、多彩な活動をしている。2006年全日本吹奏楽コンクール長年出場指揮者賞(15年)受賞。2010年秋田県木内音楽賞特別賞受賞。現在、21世紀の吹奏楽“響宴”実行委員、日本管打・吹奏楽学会理事、尚美学園大学客員教授、尚美ミュージックカレッジ専門学校、埼玉県立松伏高等学校音楽科、武蔵野音楽大学各講師、ノースアジア大学客員教授、川越奏和奏友会吹奏楽団音楽監督・常任指揮者、立正大学吹奏楽部、秋田吹奏楽団、ソーレウインドアンサンブル音楽監督、渋谷区青少年吹奏楽団常任指揮者。

佐藤 正人 Masato Sato



佐藤正人を愛する打楽器奏者たち PLAYERS



令和元年十月十日に還暦を迎えた佐藤正人先生。その教え子の数は計り知れない。なかでも豊富な打楽器の知識、こだわり、そして厳しさに影響を受けた打楽器奏者も多い。還暦を祝い、その教え子たちが各地から一同に集結。本人には内密に、関係の深い十一人の作曲家に打楽器アンサンブル曲を委嘱。果たしてどんな楽曲が生まれるのか。乞うご期待。



MC 近江 由佳
秋田県出身。秋田市立山王中学校、秋田県立秋田南高等学校卒業。中学・高校ともに吹奏楽部に所属し、打楽器を担当。大学を卒業後、SBS静岡放送アナウンサーとして活躍中。

川越奏和奏友会吹奏楽団